

中学生

藤樹先生を学ぶ

高島中学校で、九月三十日に全校自然体験活動が実施されました。その取組の目的の中に、高島市内の地域の特色や課題に気付き、自然環境保全などの意識を高めることを挙げ、藤樹記念館、藤樹書院を訪れました。武田基裕参与や上田藤市郎さんの話を聞き、藤樹先生についての学びを深められました。

この学習を通しての生徒たちの感想やその時の様子を紹介します。

7年(中1) 藤田 実優

私は、藤樹先生のことについて話を聞いて、藤樹先生は日頃の行いが正しく、思いやりのある人だったのだと思いました。藤樹先生は、武士



になるための勉強をしていたのに、そこを抜け出し、お母さんの所へ葉を届けに戻った話が印象的でした。それでも、藤樹先生はお咎めを受けなかったそうです。それほどすごい人で、人から愛された人だったのだと感じました。私も日頃の行いを正しくして、思いやりのある人になりたいと思います。

8年(中2) 野田 華稟

小学生の頃に勉強をして、藤樹先生のことは少し知っていました。が、今回お話を聞いて藤樹先生の人柄や、人間として生きていくために必要な教えを改めて分かったような気がしました。講師の先生からとても貴重なお話を聞くことができ、良かったです。歩いているときはしんどかったです。知らないことを知ることができました。

8年(中2) 斎藤 隼

藤樹先生のように、人として尊敬されるようなことはまだできないかもしれないけれど、せめて自分で自分の行いを認めることができるようになりたいと思います。藤樹先生のお話はとても勉強になりました。

8年(中2) 小谷 悠星

藤樹先生が行ってきた教えが、今までずっと受け継がれていて、藤樹

先生のすごさを実感することができました。

9年(中3) 藤田 倅菜

藤樹記念館に行つて藤樹先生について学びました。「致良知」「五事を正す」を学びました。「顔つき」「言葉づかい」「まなざし」「よく聞く」「思いやり」で、誰にでも和やかな顔で、良い言葉づかいをし、やさしい目で物事を見て、人の話をしっかり聞いて、真心を込めて思いやりの気持ちを大切にすることを学びました。

9年(中3) 南崎 さえ

藤樹先生が日本においての陽明学の開祖であることは前から知っていましたが、『五事を正す』や『致良知』の意味はあまり知りませんでした。今後は、これらの言葉を自分の生活の中に活かしてみようと思いました。

9年(中3) 佐藤 帆香

藤樹書院に行つてたくさんお話を聞いて、あらためて中江藤樹先生のことを詳しく知ることができました。また、『致良知』について理解を深めることができたので良かったです。

書院の中にあるいろいろな物には、一つ一つ意味があることにも驚きました。

9年(中3) 山本 真帆

講師の先生のお話を聞いて、皆さんが藤樹先生について伝え、後世に語り継いでいきたいと強く思つておられることが伝わってきました。藤樹書院は初めて行った場所でしたが、昔に建てられた建物でありながら、長い間守られてきたもので、とても綺麗であることに驚きました。水もとても美味しかったです。儒教式のお墓や祀るものなど、見慣れないものがたくさんあり、とても興味がわきました。



最後に生徒の皆さんが作った川柳を紹介します。

「故郷の 自然と歴史に

ふれてみた」

9年(中3) 松本 和希

「高島市 歴史めちやくちや

すごかった」

7年(中1) 澤井 杏純